

計画の趣旨と計画期間

【計画の趣旨】

- 2019(令和元)年
 - ・第2次射水市中小企業振興計画策定
 - ・中小企業・小規模企業振興基本条例
- コロナ感染症、リモートワーク、DX・GX等による働き方改革や社会経済環境
- 第2次計画が2023(令和5)年度をもって終了

これらの状況を踏まえ、新たな施策を打ち出す第3次計画を策定

【計画期間】

- 2024(令和6)年度から2028(令和10)年度までの5年間

射水市の中小企業の状況

【中小企業を取り巻く現状】

- 人口減少が加速する中、次代を担う若者の育成と、女性や高齢者など、多様な人材活躍を促進する必要がある
- 経済循環構造上の資金の“漏れ”が、民間消費にみられるため、商業や観光等による消費流入の回復と、企業の域外マネーの獲得が求められる
- 製造業が実質的な基盤産業となっているが、経済・社会のグリーン化に対応した業態変革支援や、土地活用上の課題も踏まえ、高付加価値化、高効率化が必要
- 幅広い産業分野の強みを有しており、相互連携による相乗効果を発揮させる
- コロナや世界情勢などで人材不足、物価・エネルギー価格の高騰などにより、中小企業への影響が多大となっており、幅広い支援が求められている

射水市の特徴・取り巻く状況等のまとめ

【市の特性・特徴など】

- 古くは旧北陸道や北前船航路、近年では港湾、高速道路、鉄道など物流の拠点
- 日本海側総合的拠点港湾の富山新港を擁し、環日本海交流の拠点
- 外国人住民が市の総人口の約3%
- 高等教育機関が集積
- 女性の就業率、共働き率が高い

【中小企業振興の主な取り組み】

- <第2次計画期間に取り組んだもの>
- 中小企業販路拡大支援事業補助金
- 学生企業訪問支援事業(バスツアー)
- 沖塚原企業団地の分譲開始
- 市内中小企業向けDX個別相談会
- 射水市中小企業等DX推進事業補助金の創設
- 複合型テレワーク拠点施設「アグリライミズ」の開所
- サテライトオフィス等開設支援事業補助金の創設

現状把握・課題抽出に当たっての各種調査

【各種調査】

- ◆企業状況調査
- ◆市民アンケート調査
- ◆事業者アンケート(事業承継)
- ◆企業ヒアリング

これらの結果を、今後の施策や取り組みに活用

計画の体系

